



大船から北鎌倉へ

～新緑の知られざる切通を歩く～

2023.5.9 山本好久 記



常楽寺山門

5月9日(火)1週間前の予報では雨マークが付いていましたが、幸いにも五月晴れの中 40 名の方が大船駅南口に集まり大船から北鎌倉まで歩くことができました。

主な探訪地は、離山、離山富士見地蔵、常楽寺、木曾義高墓、多聞院、高野切通、甘糟家長屋門、長窪切通です。

大船駅から離山富士見地蔵に向かう途中、離山(北から腰山、長山、地蔵山)の名残と思われるなだらかな傾斜を歩き、大船田園都市計画、三菱電機の工場建設、海軍倉庫建設のため切り崩された三山を想起しました。



常楽寺仏殿

北条泰時によって建立され、建長寺の開山である蘭溪道隆が建長寺のできる前に入ったことから、「常楽は建長の根本なり」といわれた古刹常楽寺を拝観しました。

泰時の墓、道隆お手植えの銀杏、頭を隠し一体で見ざる聞かざる言わざるを現した珍しい庚申道標等見どころはいっぱいでした。

また裏山に上ると、悲劇の若武者木曾義高の墓と伝大姫の墓があり昨年放送された大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を思い出し、感慨にふけたのでした。

小田原北条氏に仕え、大船一带を治めた甘糟氏が四天王の内、北の守護神である多聞天を祀った多聞院を拝観後、いよいよ切通に入って行きました。

高野切通、長窪切通ともに開かれた時代は不明ですが、とても雰囲気の良い場所で、まさに撮影ポイント！皆さん写真を撮っておられました。

高野台から北鎌倉へ下り、解散となりましたが、皆さん楽しいハイキングであったと思います。

(参加者 40 名)



切通を元気に歩く会員



裏山にある木曾義高の墓